

令和8年6月

会員各位

東京東信用金庫
理事長 吉田 誠

第81期通常総代会決議ご通知

謹啓 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和8年6月25日開催の当金庫第81期通常総代会におきまして
下記の通り報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

謹 白

記

報告事項 第81期(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)
業務報告書、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

決議事項 第一号議案 剰余金処分案承認の件
第二号議案 役員賞与支給の件
第三号議案 定款一部変更の件
第四号議案 総代候補者選考委員選任の件
第五号議案 理事及び監事の任期満了に伴う改選の件
第六号議案 退任役員の退職慰労金支出の件
第七号議案 会員除名の件

上記議案について、いずれも原案通り承認、可決されました。

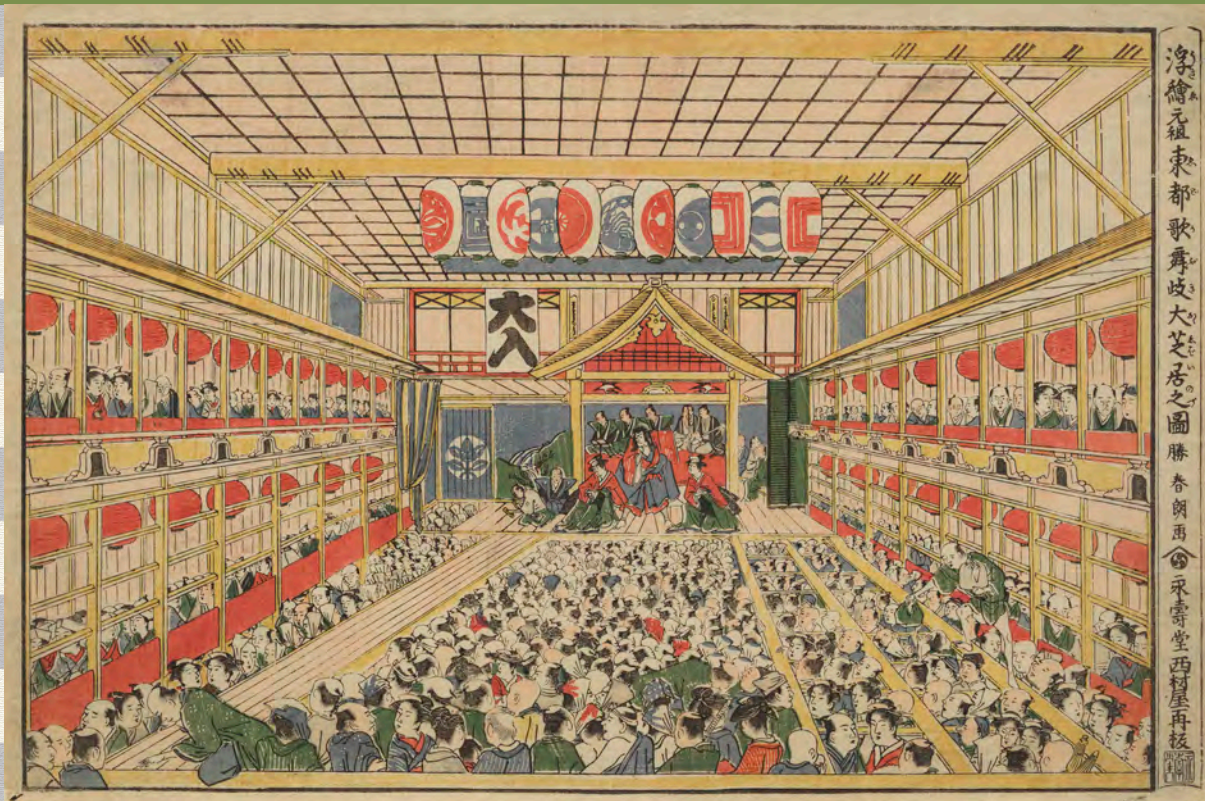
以 上

第81期

事業報告書

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで



うきえがんそとうとかぶきおおしばいのず
葛飾北斎「浮絵元祖 東都歌舞岐大芝居之図」

画像提供：すみだ北斎美術館

葛飾北斎は代表作「富嶽三十六景」シリーズを発表するおよそ50年前、
数え19歳で浮世絵師・勝川春章(かつかわしゅんしょう)に入門し、翌年
には歌舞伎役者を描いた錦絵を発表しています。
この作品は江戸時代後期の大衆娯楽であった歌舞伎の活況を伝えてい
ます。また芝居小屋の内部が浮絵(うきえ)と呼ばれる遠近法の一つで
描かれており、当時の芝居小屋の内部構造を知るうえでも貴重な作品
となっています。

夢を夢で終わらせない信用金庫



東京東信用金庫

<https://www.higashin.co.jp>

本部：東京都墨田区両国4-35-9
Tel. 03-5610-1111(代)

本店：東京都墨田区東向島2-36-10
Tel. 03-3611-0131(代)

ごあいさつ

会員の皆さまには、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、第81期の事業の概況と決算の内容を謹んでご報告申し上げます。

令和7年度を振り返りますと、世界的な地政学リスクの高まりや物価・為替の変動、持続的な賃上げへの対応など、経済環境は依然として先行き不透明な状況が続きました。お客さまの経営課題の多様化が進み、地域に根差した事業を営む皆さまにとって経済構造が「金利のある世界」へと歴史的転換期に直面しました。この環境変化は、長年のデフレ脱却を象徴するものであり、金融商品を選択する際に「収益性」を重視する傾向が顕著に表れ、その結果、経営資源の最適化や生産性向上を加速させ、規律ある経営への原動力と捉えなおす動きがみられております。

このような中で、令和7年度は中期経営計画“つなぐ力”の最終年度として、「継続の時代」と位置付け、ひがしんの“つなぐ力”を発揮して、地域の未来を創るために地域貢献と課題解決活動を展開することで、当金庫の事業につきましては堅実に推移いたしました。これもひとえに会員の皆さまのご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和8年度は、新3か年中期経営計画“縁 結び”を策定し、前3か年中期経営計画“つなぐ力”を引き継ぎ、縁を「つなぐ」取組を「結ぶ」取組へと深化させ、地域貢献と課題解決に果敢に挑戦することで、地域・お客さまの共通価値を創造してまいります。

会員の皆さまには、より一層のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



吉田理事長

中田会長

令和8年6月
会長 中田 清史 理事長 吉田 誠

当金庫の概要

令和8年3月末現在

設立	昭和20年12月15日
職員数	1,252名
店舗数	62店舗・11出張所・店舗外ATMコーナー15か所
出資金	228億円
会員数	110,646名

縁

- 信望** お客さま第一の姿勢で、誠実・健全な経営を
- 躍動** 独創的な発想を活発にして、力強い競争力を
- 共存** 役職員が協力して、地域社会との共存共栄を

あたたかく一人へ・街へ

シンボルマーク



東京東信用金庫

庫章の楕円は、地域社会と東京東信用金庫を表す二つの円が重なり一体化してふくよかに広がる様を、日本の伝統的な「和」の形で表しています。

右寄りの白い円は「東」の方位で、万物をはぐくむ陽光が地平から昇る姿を示し、成長や繁栄を表現しています。

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：百万円)

資産の部	
科目	金額
現金	15,460
預け金	435,196
買入金銭債権	7,700
金銭の信託	2,045
有価証券	580,840
国債	997
地方債	2,035
社債	215,643
株式	18,619
その他の証券	343,544
貸出金	1,168,678
割引手形	3,992
手形貸付	40,344
証書貸付	1,112,785
当座貸越	11,555
外国為替	595
外国他店預け	224
買入外国為替	356
取立外国為替	13
その他資産	15,953
未決済為替貸	646
信金中金出資金	11,658
前払費用	113
未収収益	2,802
金融派生商品	0
その他の資産	732
有形固定資産	32,322
建物	7,207
土地	22,471
リース資産	13
建設仮勘定	1,490
その他の有形固定資産	1,139
無形固定資産	2,825
ソフトウェア	1,675
リース資産	5
その他の無形固定資産	1,144
繰延税金資産	5,656
債務保証見返	414
貸倒引当金	△ 8,140
(うち個別貸倒引当金)	△ 3,322
資産の部合計	2,259,548

負債の部	
科目	金額
預金積金	2,064,722
当座預金	61,883
普通預金	945,562
貯蓄預金	14,245
通知預金	11,020
定期預金	975,448
定期積金	33,482
その他の預金	23,079
借入金	50,000
当座借越	50,000
その他負債	8,201
未決済為替借	806
未払費用	3,336
給付補填備金	26
未払法人税等	1,018
前受収益	939
払戻未済金	468
職員預り金	618
金融派生商品	29
リース債務	19
資産除去債務	465
その他の負債	472
賞与引当金	682
役員賞与引当金	39
退職給付引当金	817
役員退職慰労引当金	467
睡眠預金払戻損失引当金	10
偶発損失引当金	1,032
再評価に係る繰延税金負債	1,310
債務保証	414
負債の部合計	2,127,697
純資産の部	
科目	金額
出資金	22,807
普通出資金	20,767
その他の出資金	2,040
資本剰余金	2,040
資本準備金	2,040
利益剰余金	111,181
利益準備金	20,596
その他利益剰余金	90,585
特別積立金	83,626
当期未処分剰余金	6,959
処分未済持分	△ 2
会員勘定合計	136,025
その他有価証券評価差額金	△ 7,440
土地再評価差額金	3,266
評価・換算差額等合計	△ 4,174
純資産の部合計	131,850
負債及び純資産の部合計	2,259,548

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：千円)

科目	金額	
経常収益		44,171,897
資金運用収益	32,660,467	
貸出金利息	20,278,353	
預け金利息	1,904,593	
有価証券利息配当金	10,136,077	
その他の受入利息	341,444	
役務取引等収益	2,366,570	
受入為替手数料	967,053	
その他の役務収益	1,399,517	
その他業務収益	486,477	
外国為替売買益	34,011	
商品有価証券売買益	2	
国債等債券売却益	2,370	
国債等債券償還益	39,230	
その他の業務収益	410,864	
その他経常収益	8,658,381	
償却債権取立益	592,734	
株式等売却益	7,862,019	
金銭の信託運用益	58,260	
その他の経常収益	145,367	
経常費用		37,896,445
資金調達費用	3,896,635	
預金利息	3,686,563	
給付補填備金繰入額	29,019	
借入金利息	176,917	
その他の支払利息	4,134	
役務取引等費用	1,162,076	
支払為替手数料	203,712	
その他の役務費用	958,364	
その他業務費用	10,860,518	
国債等債券売却損	7,961,629	
国債等債券償還損	1,988,429	
国債等債券償却	233,626	
金融派生商品費用	29,638	
その他の業務費用	647,194	
経費	18,967,174	
人件費	11,788,718	
物件費	6,817,965	
税金	360,490	
その他経常費用	3,010,039	
貸倒引当金繰入額	1,842,607	
貸出金償却	35,855	
株式等売却損	227,926	
株式等償却	169,256	
その他資産償却	8,559	
その他の経常費用	725,833	
経常利益		6,275,452
特別利益		11,938
固定資産処分益	11,938	
特別損失		59,925
固定資産処分損	59,902	
減損損失	23	
税引前当期純利益		6,227,464
法人税、住民税及び事業税		1,812,012
法人税等調整額		△ 169,718
法人税等合計		1,642,293
当期純利益		4,585,171
繰越金(当期末残高)		2,374,019
当期末処分剰余金		6,959,190

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

剰余金処分計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科目	金額
当期末処分剰余金	6,959,190,923
繰越金(当期末残高)	2,374,019,627
当期純利益	4,585,171,296
剰余金処分額	4,515,296,191
利益準備金	500,000,000
普通出資に対する配当金(年2%)	415,296,191
特別積立金	3,600,000,000
繰越金(当期末残高)	2,443,894,732

以上の通り報告いたします。

令和8年6月25日

役員

会長 中田 清史

理事長 吉田 誠

専務理事	三石 智章	常勤理事	片桐 智
常務理事	鈴木 幹夫	常勤理事	富澤 裕之
常務理事	原田 真生	理事	北條 恒夫
常勤理事	湯浅 博	理事	川上 元久
常勤理事	井澤 剛	理事	岡本 毅
常勤理事	金田 隆夫		

以上監査の結果、決算が正確であり、その処分が適正であることを認めます。

令和8年6月1日

常勤監事 石井 浩

常勤監事 対馬 新一

員外監事 森川 卓也

庶務等の事項

総代会開催

令和7年6月26日 第80期通常総代会

登記事項

令和7年4月7日 出資総口数及び出資総額変更

■ ひがしんビジネスフェアを開催



「第25回ひがしんビジネスフェア2025」を両国国技館で開催し、広域連携の信用金庫の取引先企業を含め156企業167ブースにご出展いただき、約6,800名のお客さまをお迎えいたしました。

■ 第74回東京都信用金庫野球大会 優勝



第74回東京都信用金庫野球大会において、当金庫野球部が57年ぶりに優勝しました。当日は、約1,500名の役職員・ご家族・お客さま・地域の皆さまが応援に駆けつけ、スタンドが一体となって盛り上がりました。

■ フットサル日本女子代表としてW杯に出場



当金庫の職員である岩崎裕加選手が、「FIFAフットサル女子ワールドカップ フィリピン2025」にフットサル日本女子代表として出場しました。グループステージではゴールを決め、チームの準々決勝進出に貢献しました。準々決勝では、優勝したブラジル代表に敗れましたが、世界の舞台上で活躍を見せました。

■ 20の市区へ寄付を実施



これまで支えてくださった地域社会への深い感謝を込めて、また次なる時代への街づくりへと結びつけるため、営業エリア内の20市区へ持続可能な地域づくりに役立てていただく寄付を実施いたしました。

■ 第31回信金けんぽサッカー大会 優勝



第31回信金けんぽサッカー大会において、当金庫サッカー部が優勝しました。決勝戦には多くの方々に応援に駆けつけ、その声援を力に3-1の逆転勝利を収め、見事3連覇を達成しました。

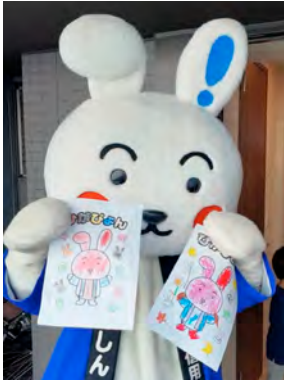
■ 南葛SC 応援飾り完成



スポンサー契約を締結している南葛SCの応援装飾を、葛飾支店の窓面と室内壁面に施しました。

当金庫の取組み

■ ひがびよんぬりえコンテストを開催



区民まつり等でぬりえを募集し、入賞者の方にひがびよんが直接プレゼントをお届けしに行きました。

■ あだち区民まつり A-Festa2025



地域の魅力を発信し、親子で楽しめるイベントとして開催された「あだち区民まつり A-Festa2025」に「ガチャピー」を出店して多くの方に楽しんでいただきました。

■ 青森大学の講義で創業や地域金融機関の役割について発表



吉田理事長と取引先企業2社が青森大学の総合経営学部の学生に向けて講義を行いました。起業に興味を持っている学生も多く、ファイナンスの視点や、起業した社長の実体験について熱心に聞き入っていました。

■ ライフプランをより良くするためのセミナーを開催



豊かなライフプランの実現と将来への備えを支えるため、専門家によるセミナーを開催し、相続や資産運用について理解を深める機会を提供しました。

■ 健康経営優良法人



健康経営を実践している企業を顕彰する「健康経営優良法人」に10年連続で認定されています。健康経営優良法人として、役職員の心身の健康を支え、より良い社会の実現に貢献してまいります。

■ プラチナくるみん



「プラチナくるみん」認定企業として、育児と仕事の両立を全力で支援しています。柔軟な勤務制度や充実した子育てサポートを提供し、役職員が安心して働ける環境を整えています。これからも、働きやすい職場づくりを推進してまいります。

■ えるぼし



「えるぼし」認定企業として、女性の活躍を積極的に推進しています。働きやすい環境を整え、多様な人材が輝ける職場づくりを推進しています。これからも、より良い労働環境の実現に努めてまいります。

■ DX 認定



経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得しています。デジタル(データ、デジタル技術)とアナログ(職員)の良さを組み合わせる業務改革/経営改革をおこない、地域社会により一層貢献してまいります。